

医療法人 清仁会 **北海道内科リウマチ科病院**
Hokkaido Medical Center for Rheumatic Diseases



北海道内科リウマチ科病院は、 国内でも数少ないリウマチ医療の専門病院です。

当院は内科医療、中でも自己免疫疾患(膠原病)に属するリウマチ性疾患の診療を展開しています。

例えば「関節リウマチ」は、関節だけではなく全身にも障害を起こす病気であるため、

内科、リウマチ科、整形外科、さらにリハビリテーション科などが結集し、診療科を超えた医療を行う必要があります。

そのため私たちは、各専門医だけではなく、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリセラピストなど

スタッフも一丸となり、職種の枠を超えたチーム医療を実践しています。

病気が良くなることを「治癒(ちゆ)」といい、症状が治まり、

ふだんの日常生活に戻れることを「寛解(かんかい)」と呼んでいます。

私たちは、持てる知識と技術を駆使し、内科、リウマチ性疾患に苦しむ患者さまの「治癒」と「寛解」を目指しています。

医療方針

- 慢性疾患としての内科診療を主とし、加えて専門センターとしてリウマチ膠原病疾患に対応する医療組織の確立をはかる。
- 患者さまやご家族、さらに地域の皆さまが安心かつ満足できる医療、看護、介護、リハビリテーションを提供し、地域に根付いた「頼れる病院」を目指す。

基本方針

- 1.笑 顔/私たちは笑顔を忘れず、丁寧な言葉遣いで、親切に、誠意をもって接します。
また患者さまやご家族の意見を尊重し、可能な限りご要望にお応えできるように努めます。
- 2.説 明 と 同 意/私たちは患者さまやご家族に治療や療養の方針を十分に説明し、同意を得た上で援助するように努めます。
- 3.サービスの向上/私たちは患者さまの健康を増進すべく、当院における可能な限りの医療、リハビリテーションの提供に努めます。
- 4.人 権 の 尊 重/私たちは患者さまが尊厳ある療養生活を過ごせるよう、
患者さまの人権や権利、プライバシーを最大限に尊重したサービスの提供に努めます。
- 5.在 宅 支 援/私たちは患者さまがご家庭でも安心して生活できるよう、地域の医療福祉施設と密接な連携を図りながら、
環境整備の支援と在宅サービスの提供に努めます。

病院概要

- 名 称/北海道内科リウマチ科病院
- 所在地/〒063-0811 札幌市西区琴似1条3丁目1-45
- 開設者/医療法人 清仁会
- 理事長/谷村 一秀
- 開設日/昭和62年5月1日
- 診療科目/内科、リウマチ科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、
リハビリテーション科
- 病 床 数/180床
- 敷地面積/3,300平方メートル
- 建物面積/鉄筋コンクリート造・地上6階・延べ7,221.1平方メートル



医療法人清仁会は1987年5月の設立以来、地域の皆さまの健康を守ることを使命とし、病院を運営しております。

2009年10月に、リウマチ科専門医師と医療スタッフを大幅に増員するとともに、最新の医療機器を導入し、内科疾患全般の診療およびリウマチ性疾患の専門病院として新体制で再スタート。

2010年1月には、より広域に地域医療を担うため「北海道内科リウマチ科病院」に改称いたしました。内科疾患の中でも、特に内科慢性疾患であるリウマチ膠原病や消化器疾患を専門とし、さらにリハビリテーションを必要とする分野では、長期間の臨床実績とデータの蓄積に基づき、的確な診断と専門的な治療を行っております。

内科・リウマチ科の専門病院として全職員が誇りを持ち、地域の皆さまにとどまらず、今後も札幌市内および全道の患者さまから信頼される病院を目指してまいります。



私たちは、やさしさと豊かな人間性で
保健・医療・福祉の各専門職種と連携し
患者さまを中心とした『チーム医療』に取り組み、
患者さま一人ひとりに合った
適切で安心・安全な医療の提供を目指します。



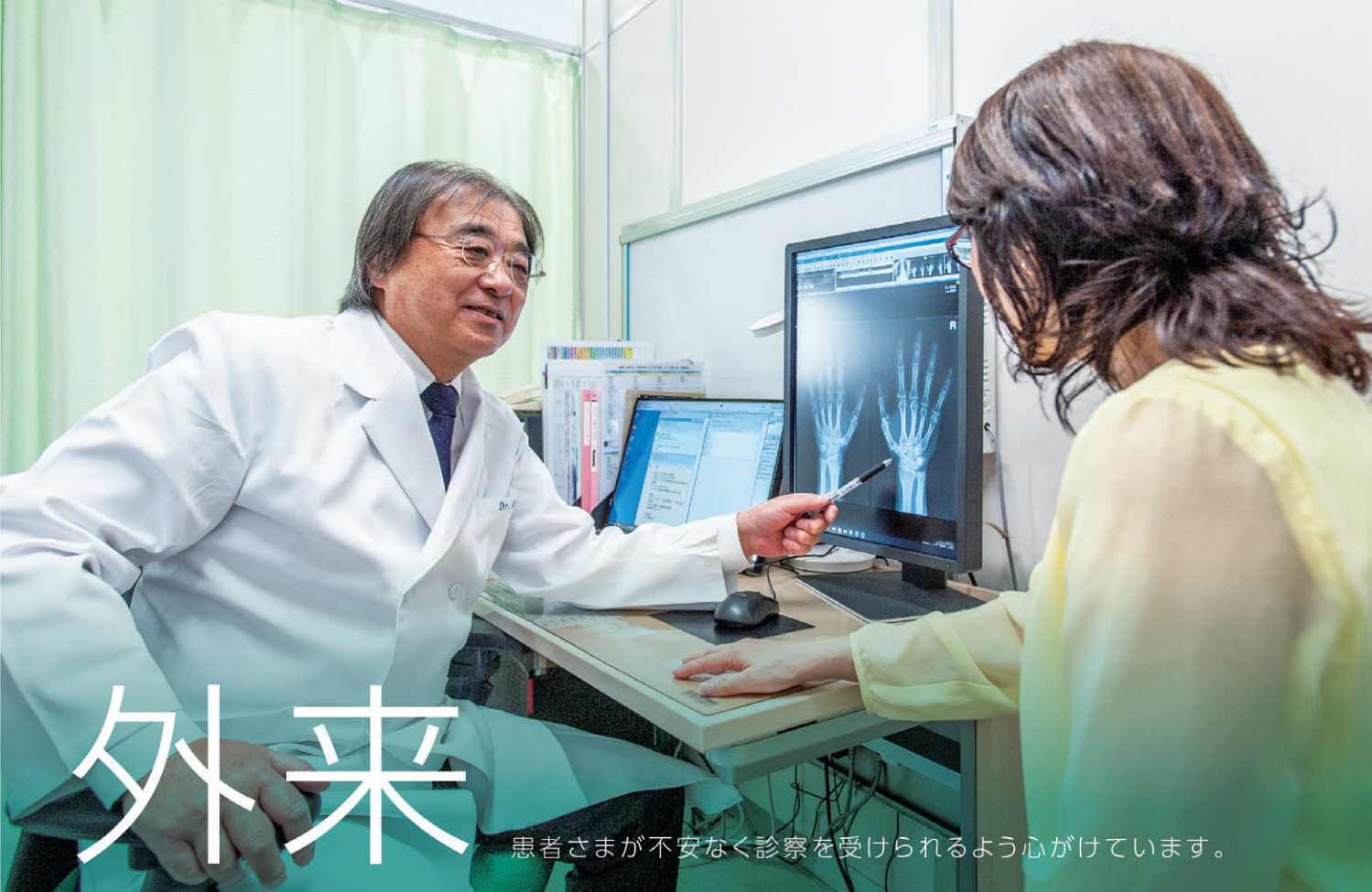
理事長 谷村 一秀



院長 中川 育磨



最高顧問(北海道大学名誉教授) 小池 隆夫



外来

患者さまが不安なく診察を受けられるよう心がけています。



外来ロビー

受付から診察室、検査室等すべてを1階フロアーに配置しています。

外来診療

当院は、内科総合診療および専門分野としてのリウマチ科、呼吸器内科、リハビリテーション科の外来診療を行っています。



点滴室

音楽を聞きながらゆったりとした環境で点滴治療が受けられます。



受付・会計窓口

カウンターの向かいには受付・会計待合がございます。



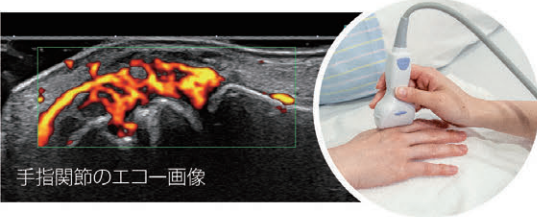
院内売店

病院をご利用される皆様に不自由がないように会計待合の隣に売店を併設しています。



検査

最新の検査機器により
精密な検査が受けられます。



医療機器メーカーと共同開発で 実用化された「関節エコー」

炎症を起こしている部位がただちに赤く映し
出されるので、病状の理解にも役立ちます。



薬局

医療の高度化、二
患者さまにとって



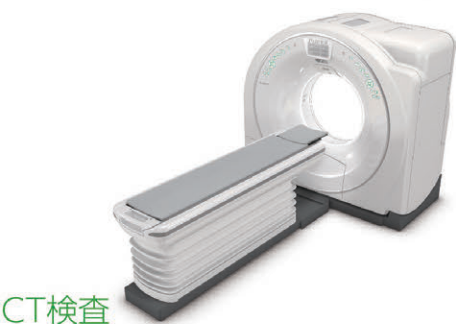
バイオ製剤

生物学的製剤は治療薬の効果が低下しないように、
注射する直前にクリーンベンチ内で調製しています。



病棟カンファレンス

リウマチには、適切な管理が必要な治療薬(生物学的
製剤、JAK阻害薬)が多いため、薬剤師から治療薬
の最新情報を提供しています。



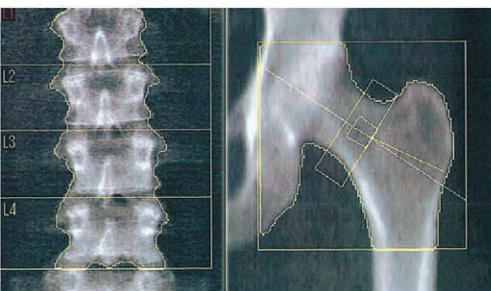
CT検査

短時間に極めて多くの画像データを収集可能で、
様々な病変の発見に役立ちます。



MRI検査

空洞内が広く開放された装置により、圧迫感のない
環境で検査が受けられます。



骨密度測定

骨そしょう症により骨折が起こりやすい
腰椎・近位大腿骨(股関節)を中心に
骨密度を測定します。



検体検査装置

血液や尿などの検査を専門の分析装置で
行っています。様々な臓器の機能や、病態を
把握することができます。

地域医療連携室 (患者相談窓口)

医療ソーシャルワーカーと看護師を配置し、患者さまが安心して療養生活をお過ごしいただける
よう、医療・介護・社会保障制度や入院・転院・施設入所についてのご相談をお伺いしております。





ニーズの多様化に対応し、
最適な薬物治療を提供します。



リハビリテーション

患者さまのさまざまな症状に応じてリハビリテーションのプロがサポートします。



服薬指導

リウマチなどの免疫疾患に精通している薬剤師が薬物治療について説明や指導を行います。



理学療法

運動機能や関節・筋肉の痛みの改善を目的に運動療法や物理療法(ホットパックや低周波)を行います。



作業療法

握力やつまむ力の強化訓練や指先の細かい動きに対応アプローチを行います。手指機能訓練ではSARAH(サラ)プログラムや、そこから派生した当院独自のアプローチ法であるHERA(ヒーラ)を用いています。



無菌調製

食事が摂れない患者さまのために全ての高カロリー一輸液を薬剤師が無菌調製をしています。



リハビリテーション課では、多くの患者さまに自主練習方法を提供するために、YouTube専門チャンネルの開設や、運動の小冊子を作成し、患者さまにお渡ししております。

栄養相談・特定保健指導 (メタボ健診)

健康維持や改善に必要な栄養相談をお受けしています。

また、特定保健指導では健診結果から必要な生活習慣の改善ができるようにサポートを行っています。





入院

多職種が連携し患者さまの人生の質に注目した療養生活支援の提供を実践しています。



入院病室

体圧分散マット仕様の電動ベッドを全床に採用しました。ゆったりとした気分で治療に専念できる環境です。

カンファレンス

多職種が患者さまの症状や治療についての情報を共有し支援内容を検討します。



看護

患者さまの「思い」「ありたい姿」を傾聴し、多職種と連携、協働し、日常生活援助を実践しています。



食事

入院中の食事が楽しみとなるよう行事食の提供や、温冷配膳車を使い作りたての美味しさをお届けしています。



歯科衛生士

誤嚥性肺炎、歯周病予防のため、口腔内をアセスメントし、口腔ケアを実施しています。また、患者さま、看護スタッフへの指導を行っています。



医療法人 清仁会
北海道内科リウマチ科病院

Hokkaido Medical Center for Rheumatic Diseases

〒063-0811 札幌市西区琴似1条3丁目1番45号

Tel.(011)611-1371 Fax.(011)613-8753

受付時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 外来受付 / 平日：8時30分 — 12時00分 13時00分 — 16時30分 ● 土曜日：8時30分 — 11時30分 ● 外来休診日 / 日曜日・祝祭日・年末年始
交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ● 地下鉄東西線「琴似駅」下車、4番出口より徒歩5分 ● JR函館本線「琴似駅」下車、徒歩7分 ● JRバス「琴似1条3丁目」下車、徒歩1分
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ● 当院外来を受診される患者さま(送迎者を含む)・当院入退院送迎のご家族(3時間まで無料) ● お見舞いの方(3時間まで無料) <p>※いずれも受付にて駐車券の認証を受けてください。</p>